

[成果情報名] 諫早湾干拓地におけるシンテッポウユリの窒素施肥量

[要約] 諫早湾中央干拓地におけるシンテッポウユリ栽培では窒素施肥量15kg/10aで、草丈90cm以上輪数3輪以上の切り花が得られる。

[キーワード] 諫早湾干拓、初期営農、シンテッポウユリ、窒素施肥量

[担当] 総合農林試験場・企画経営部・干拓科

[連絡先] 電話0957-35-1272、電子メールyamasaki0106@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 総合・営農(干拓)

[分類] 指導

[背景ねらい]

諫早湾干拓地では環境保全型農業を前提としており、初期干拓土壌におけるシンテッポウユリの栽培において目標とする品質（草丈90cm以上、輪数3輪以上）を確保しつつ、環境に負荷の少ない窒素施肥量について検討する。

[成果の内容・特徴]

1. 草丈90cm以上、輪数3輪以上は、全量基肥の施肥体系では窒素15kg/10aで、分施肥体系では基肥窒素10kg、追肥2.5kgで概ね確保できる(表1-2, 3)。
2. 両水準とも、基準とした基肥窒素35kg+追肥5kg/10aと遜色のない生育を示す(表1-2, 3)。
3. 窒素施肥量は省力化の観点から基肥のみの窒素15kg/10aでよい。

[活用及び留意点]

1. 諫早湾干拓地営農指針策定の基礎資料とする。
2. 施肥方法はほ場内均一全面散布とする。
3. 栽植及び栽培方法は長崎県農林業基準技術(平成11年1月)に準じ、堆肥は4t/10a投入。

[具体的データ]

表1-1 シンテッポウユリの施肥量の違いによる年次別生育

年次	窒素施肥量			収穫時			
	基肥	追肥	計	草丈	指数	輪数	指数
	(kg/10a)			(cm)	(%)	(輪)	(%)
14年	52.5	7.5	60.0	116.5	105.2	4.5	107.1
		5.0	57.5	112.5	101.6	4.5	107.1
	35	7.5	42.5	114.3	103.3	4.5	107.1
		5.0	40.0	110.7	100.0	4.2	100.0

※品種：「雷山2号」

※指数は同年の35-5の数値を100(%)としたときの値

表1-2 シンテッポウユリの施肥量の違いによる年次別生育

年次	窒素施肥量			収穫時			
	基肥	追肥	計	草丈	指数	輪数	指数
	(kg/10a)			(cm)	(%)	(輪)	(%)
15年	35	5.0	40.0	100.2	100.0	2.3	100.0
		2.5	37.5	102.6	102.4	2.3	100.0
		0.0	35.0	100.7	100.5	2.5	108.7
	25	5.0	30.0	96.7	96.5	2.6	113.0
		2.5	27.5	104.2	104.0	3	130.4
		0.0	25.0	101.7	101.5	2.9	126.1
		5.0	20.0	104.7	104.5	3.1	134.8
		2.5	17.5	101.1	100.9	3.3	143.5
		0.0	15.0	99.1	98.9	2.8	121.7
		15	2.5	17.5	101.1	100.9	3.3

※品種：「雷山2号」

※指数は同年の35-5の数値を100(%)としたときの値

表1-3 シンテッポウユリの施肥量の違いによる年次別生育

年次	窒素施肥量			収穫時			
	基肥	追肥	計	草丈	指数	輪数	指数
	(kg/10a)			(cm)	(%)	(輪)	(%)
16年	35	5.0	40.0	95.6	100.0	3.3	100.0
		15	0.0	15.0	89.2	93.3	3.3
	10	5.0	15.0	90.1	94.2	3.6	110.5
		2.5	12.5	90.6	94.8	3.2	98.2
		0.0	10.0	81.9	85.7	3	92.0
		5.0	10.0	88.5	92.6	3.5	107.4
	5	2.5	7.5	85.3	89.2	3.1	95.1
		0.0	5.0	86.4	90.4	3.4	104.3

※品種：「雷山2号」

※指数は同年の35-5の数値を100(%)としたときの値

[その他]

研究課題名：2) 諫早湾干拓営農対策試験(2)営農対策試験①作物施肥試験

予算区分：県単

研究期間：2002～2004年度

研究担当者：山崎和之